

岐阜新聞 映画部

【協賛】キリンビール株式会社 **大和証券**
【協力】キネマ旬報社 【企画・制作】岐阜新聞社営業局

映画みんと倶楽部 12月の活動

今年も残るところあと一か月を切りましたね。記念すべき令和元年を迎えた本年、読者の皆さまはどんな映画に巡り合うことができたでしょうか。今回のラインナップからぜひあなたの締めくくりの一本を見つけてください。映画部のイベントは14日と15日の2回開催されます。皆さまにお会いできるのを楽しみにお待ちしております。

1 12/7(土)▶20(金)

天才たちの頭の中 世界を面白くする107のヒント

クリエティブであるとはどういうことなのか？ 30年以上答えを追い求めるドイツ人監督の旅をのぞく！

映画界からは「バスターズ」監督のジム・ジャームッシュ、『ハッピーエンド』監督 脚本のミヒャエル・ハネケ、『グレッタ GRETA』主演のイザベラ・ベルニョール、『ブラック・クラズマン』監督のヌイグラーなどなど。ここには書き切れないほど様々な才能が登場します！創造的、刺激的な88分を劇場で体感しましょう！



「あなたはなぜクリエイティブなのですか？」シンプルな質問を30年以上も同じ続けるのは、ハーマン・ヴァスケ監督だ。「自身のアイデアを抽象的なものから実態のあるものに変化させるものは何なのか？」と考え抜いた監督は、答えを知るために、世界で活躍する「クリエイティブ」な人物を訪ね歩き旅に出たのだ。この旅は、世界の裏側や人間の本質を描くだけでなく、幸せな人生を送るためのヒントやアドバイスを与えてくれる。

デヴィッド・ボウイ、ウィレム・デフォー、ダライ・ラマ法王14世、ステイヴン・ホーキング、北野武、サージック・クロコヴァ、ネルソン・マンデラ、ジョージ・R・R・マーティン、オノ・ヨーコ、クエンティン・タランティーン、アイ・ウェイウェイ、ヴィヴィアン・ウェストウッド、山本耀司

監督・製作：ハーマン・ヴァスケ 配給：アルトロ・フィルム 時間：88分 © 2018 Emotional Network

2 12/7(土)▶20(金)

アンドレア・ボチェッリ 奇跡のテノール

盲目のハンディを克服した世界最高峰のテノール歌手 アンドレア・ボチェッリの実話を完全映画化！ 作品中、ボチェッリ本人の吹き替えによる歌唱シーンは、まさに圧巻。

今年11月在のミュージシャン、芸術家などの映画を題材とした映画が多かったですが、これもまた素晴らしい映画です！196年に世界中で大ヒットした『タム・トゥー・セイ・グッドバイ』をはじめ『アプ・マリウ』も何度も復たならぬ（『トゥーランドット』より）などが披露されています。この歌声は劇場で聞かなくては味わいがいい！

生まれつき眼珠に血液異常の持病を抱えていたアモスだったが、明るく家族の愛に包まれて暮らしていた。ところが学校の授業中、サッカーボールが頭に当たりその持病が悪化、遂に失明をしてしまう。自暴自棄になったアモスをただ離れて見守るしかなかった家族だったが、ある日そのきれいな歌声を活かさないか、アモスの叔父がオーディションに連れていくことで彼の人生が大きく回り始める。

トビー・セバスチャン、アントニオ・バンテラス 監督：マイケル・ラドフォード 配給：プレジディオ、彩プロ 時間：115分 ©2017 Picmedia SRL

3 12/13(金)▶終映未定

カツベン！

恋も、笑いも、アクションも、しゃべって観せましょ！ 映画に音がなかった時代、自らの語りや説明で彩った活動弁士・カツベンを夢見る若き青年を描く 極上エンタテインメント！

子ども頃、活動写真小屋で観た活動弁士に憧れていた染谷俊太郎。「心を揺さぶる活弁で観客を魅了したい」という夢を抱いていたが、今では、ニセ弁士として泥棒一味の片棒を担いでいた。ある日、俊太郎は一味から逃げて、小さな町の映画館「青木館」に流れつく。青木館で働くことになった俊太郎は、ついにホンモノの活動弁士になることができる！と期待で胸が膨らむが、そこには想像を絶する個性の曲者たちとトラブルが待ち受けていた！

成田夏、黒島結実、永瀬正敏、高良健吾、音尾琢真、徳井優、田口浩正、正名僕蔵、成河、森田甘路、酒井美紀、シャロット・ケイト・フォックス、上白石萌音、城田優、草刈民代、山本耕史、池松壮亮、竹中直人、渡辺えり、井上真央、小日向文世、竹野内豊

監督：岡防正行 配給：東映 時間：127分 © 2019 ケンパケン制作委員会

4 12/14(土)▶20(金)

アメリカ 米軍が最も恐れた男 カメジロー不屈の生涯

前作『米軍が最も恐れた男 その名は、カメジロー』から2年！ アメリカ占領下の沖縄で米軍に挑んだ男・瀬長カメジローを知れば、沖縄の戦後史が見えてくる。

映画部では10月12日に上映とトークショーを予定しながら、台風19号の猛威で開催を断念した作品。故古忠彦監督のトークショーのリベンジ。そして再上映が決定！12月15日のトークショーも是非、お見逃しなく！1作目『その名は、カメジロー』からさらに深く人間カメジローに迫った今観るべき映画です。この映画から沖縄の解決されない原点的な考えを導き出さなければ...

戦後、占領下の沖縄で米軍の圧政と戦った政治家・瀬長亀次郎の生き様を描いたドキュメンタリーの第2弾。カメジローが残していた230冊を超える日記を丹念に読み解き、政治家・夫・父親などカメジローのさまざまな顔を浮かべながら生きていくほか、1971年12月4日の衆議院沖縄・北方問題特別委員会での首相・佐藤栄作と繰り広げた激論の記録映像が収められ、現代へと続く沖縄の解決されない問題や事象の原点を浮き彫りにする。

監督：佐古忠彦 音楽：坂本龍一 語り：山根基世、役所広司 配給：彩プロ 時間：128分 ©TRSPレディ

5 12/14(土)▶27(金)

アメリカ ゴッホとヘレーネの森 クレラー=ミュラー美術館の至宝

世界ではじめて、ゴッホに恋をした— 世界最大級のゴッホ作品の個人収集家、ヘレーネ・クレラー=ミュラー夫人 約300点にのぼる作品を収集したヘレーネの目を通してゴッホを描く全く新しい傑作ドキュメンタリー

今年のラインアップにはゴッホ映画が作品登場！トップを飾る本作は、ゴッホをはじめ、当時最先端の現代美術コレクションに生涯をかけた女性を題材にした、作探研究ドキュメンタリーです。14日(土)には岐阜美術館学芸員の松岡未紗さんによるトークイベントを開催！今年最後のアートサロ、ぜひお楽しみください！

美術史において最も偉大な画家のひとつとされるフィンセント・ファン・ゴッホ。その死後、ほぼ無名だった彼の作品に出会い、個人コレクターとしては最大規模の約300点を取集したのは、ヘレーネ・クレラー=ミュラーというあるひとりの女性だった。一生、出会うことのないファン・ゴッホとヘレーネ。ふたりの間に芽生えた魂の絆とは？ヘレーネが人生をかけて選んだファン・ゴッホの傑作を今こそご覧あれ！

案内人：ヴァレリア・フルーニ・テデスキ 監督：シヨヴァン・ビスコリア 配給：アルトロ・フィルム 時間：90分 ©2018- 3D Produzioni and Nexa Digital - All rights reserved

6 12/14(土)▶27(金)

イエスタデイ

ビートルズへの思いを「ビートルズが存在しない世界を描く」ことで表現するという発想が素晴らしい！ちなみに、ビートルズ以外にいる人も消えてます！このコンセプトも秀逸(笑)どのよな結末を迎えるのか？大冒険上映中の爽やかな逸品、大きなスクリーン&大音響でぜひ楽しんでほしい！個人的には「Help!」のシーンにお気に入りです。

昨日まで、世界中の誰もが知っていたビートルズ。今日、僕以外の誰も知らない。深いビートルズ愛に溢れた製作陣が送る「ビートルズのラブレター」&も言うべき至福の音楽体験

売れないシンガーソングライターのジャックが音楽で有名になるという夢をあきらめた日、12秒間、世界規模で謎の大停電が発生。真っ暗闇の中、交通事故に遭ったジャックが目を見ます。...あのビートルズが世の中に存在していない！世界中で彼らを知っているのジャックひとりだけ！ジャックがビートルズの曲を歌うと世間も大注目！ついにメジャーデビューのオファーが舞い込んで、夢を叶えたかに見えたら—

ヒメ・ジュ・パテル、リリー・ジェームズ、ジョエル・フライ、エド・シーラン、ケイト・マッキノン、ジェームズ・コーデン 監督：ダニー・ボイル 配給：東宝東和 時間：117分 ©Universal Pictures

7 12/21(土)▶27(金)

ドリーミング村上春樹

世界最大級のドキュメンタリーの祭典Hot Docsで観客賞を受賞した本作品。完璧な翻訳を追求する彼女の姿に、村上春樹作品を一回でも読んだことがある人ならば、その解釈の幅広さに共感することでしょう。本作品で使用されているビデオ・アート・フィルムは、北沢薫のVFXチーム、TGBVFXが手がけたもので、その制作にも注目です。

世界で初めて劇場公開される 村上春樹を巡るドキュメンタリー映画。村上春樹の翻訳家メッチ・ホルム。完璧な翻訳を求めて独り平行世界を旅する。

第2次世界大戦中、イギリスで唯一ナチスドイツに占領されたチャンネル諸島の1つであるガーンジー島。そこに暮らす人々の支えとなっていたのが、島での読書会とその創設者であるエリザベスという女性の存在だった。人と人の心をもつた事実と強く興味を抱いた作家のジュリエットは島を訪ねて、エリザベスの姿はなかった。読書会のメンバーと交流している中で、ジュリエットは彼らが重大な秘密を隠していることに気づいてしまう。

リリー・ジェームズ、ミキール・ハースマン、グレン・パウエル、ジュリア・ブラウン、フィンドレイ、キャサリン・バーキンソン、マシュー・グッド、トム・コートネイ、ベネローフ・ウィルトン 監督：マイク・ニューウェル 配給：キソフィルムズ/木下グループ 時間：124分 ©2018 STUDIOCANAL SAS

メッチ・ホルム 監督：ニチエ・アンジャーン 配給：サニーフィルム 時間：60分 ©Final Cut for Real

映画部員No.3 / 加藤るみとのオススメ作品!!

突然、自分以外がビートルズを知らない世界に... ビートルズの多幸感溢れるメロディに心躍る。近くにある愛こそ遠回りしてしまうもず痒さはリアル。エド・シーランが意外とがっつり出ちゃってるのが笑える。

10 12/28(土)▶1/10(金)

ひとよ

『麻倉放浪記2020』『重待ち』に続く、白石和彌監督最新作。笑える要素もところどころしっくり入っている。STORYはどの重さを感じることも観られる上りになってます。キャストもみなさん魅力！家族ってなんだろうと考えられる曲たちを、ぜひ劇場で体感してください！パヤ・オ・パンなどの曲曲調でクラシック入門曲としてもおすすめ！

あの夜、母は父を、殺した。子どもたちの幸せと信じて—15年後、母が、帰ってきた。一夜にして激変する家族の運命を通し、「家族の絆」「究極の愛」を問いかけるヒューマンドラマ

パリ、北駅に置かれた1台のピアノ。マチューの楽しみは、自分を選ぶ警察官の目を盗んでそのピアノを弾くことだった。そこへ通りかかった音楽学校のディレクター、ビエールはマチューの才能に強く惹かれ、ピアニストとして育て上げたいと声を掛ける。生い立ちに恵まれず夢など持たずに生きてきたマチューも、周囲との格差や環境の壁に直面してしまっただけで、そんな一家に、こぼれる輝きで。皆が願った将来は進んでしまっただけ。村、彼らがたどった先は—

佐藤健、鈴木亮平、松岡茉優、音尾琢真、筒井真理子、浅利陽介、韓英惠、MEGUMI、大悟(千鳥)、佐々木蔵之介、田中裕子 監督：白石和彌 配給：日活 時間：123分 ©2019(日)上製作委員会

11 12/28(土)▶1/10(金)

永遠の門 ゴッホの見た未来

130年の時を経て、私たちはゴッホの視線で世界を見つめる。ゴッホが、生涯をかけて伝えようとした、〈この世の美しさ〉を体感するために—。

画家としてパリでは全く評価されていないフィンセント・ファン・ゴッホ。彼は、会ったばかりのゴーギャンの「南へ行け」というひとことで、南フランスのアルルへやって来る。どこまでも続く風景に絶対的な美を見出したゴッホは、「永遠が見えるのは僕だけなんだろうか」と自身の胸に問いかける。風になびく妻の穂や沈みゆく太陽を見つめるゴッホの瞳は、不思議な輝きを放っていた。

ウィレム・デフォー、オスカー・アイザック、マッツ・ミケルセン、マチュー・アマルリック 監督：脚本：ジャリアン・ジュナーベル 配給：ギャガ、松竹 時間：111分 © Walk Home Productions LLC 2018

8 12/21(土)▶1/3(金)

ガーンジー島の読書会の秘密

謎が一気にはなく、ひとつずつ解決されていくテンポが心地いい。ミステリーのような展開だが、戦争中の出来事やロマンスが自然に語られている。当時の時代背景、美しい島の風景等、映画の中の情景が丁寧に描写されている上質なエンタテインメント。主演のリリー・ジェームズは、『イエスタデイ』にも出演しています。

『スリー・ビルボード』のプロデューサーが贈る人生を輝かせる至福のミステリー。すべての謎が解けた時、観る者の心を幸せな気持ちで満たす—。

第2次世界大戦中、イギリスで唯一ナチスドイツに占領されたチャンネル諸島の1つであるガーンジー島。そこに暮らす人々の支えとなっていたのが、島での読書会とその創設者であるエリザベスという女性の存在だった。人と人の心をもつた事実と強く興味を抱いた作家のジュリエットは島を訪ねて、エリザベスの姿はなかった。読書会のメンバーと交流している中で、ジュリエットは彼らが重大な秘密を隠していることに気づいてしまう。

パリ、北駅に置かれた1台のピアノ。マチューの楽しみは、自分を選ぶ警察官の目を盗んでそのピアノを弾くことだった。そこへ通りかかった音楽学校のディレクター、ビエールはマチューの才能に強く惹かれ、ピアニストとして育て上げたいと声を掛ける。生い立ちに恵まれず夢など持たずに生きてきたマチューも、周囲との格差や環境の壁に直面してしまっただけで、そんな一家に、こぼれる輝きで。皆が願った将来は進んでしまっただけ。村、彼らがたどった先は—

佐藤健、鈴木亮平、松岡茉優、音尾琢真、筒井真理子、浅利陽介、韓英惠、MEGUMI、大悟(千鳥)、佐々木蔵之介、田中裕子 監督：白石和彌 配給：日活 時間：123分 ©2019(日)上製作委員会

9 12/21(土)▶1/3(金)

パリに見出されたピアニスト

苦悩や葛藤がありながら、どんな環境でもピアノに対してはまっすぐな青年心が動かされます。さすが芸術映画で高いフランスの作品だけに、演奏シーンのこだわりはなかなかで、とても美しい。その素晴らしいピアノ演奏でつづられる曲たちを、ぜひ劇場で体感してください！パヤ・オ・パンなどの曲曲調でクラシック入門曲としてもおすすめ！

この指で、未来を拓く。幼い頃に出会ったピアノが、路地裏に生きる青年の魂の救いだした—。観る者の心を幸せな気持ちで満たす—。

パリ、北駅に置かれた1台のピアノ。マチューの楽しみは、自分を選ぶ警察官の目を盗んでそのピアノを弾くことだった。そこへ通りかかった音楽学校のディレクター、ビエールはマチューの才能に強く惹かれ、ピアニストとして育て上げたいと声を掛ける。生い立ちに恵まれず夢など持たずに生きてきたマチューも、周囲との格差や環境の壁に直面してしまっただけで、そんな一家に、こぼれる輝きで。皆が願った将来は進んでしまっただけ。村、彼らがたどった先は—

佐藤健、鈴木亮平、松岡茉優、音尾琢真、筒井真理子、浅利陽介、韓英惠、MEGUMI、大悟(千鳥)、佐々木蔵之介、田中裕子 監督：白石和彌 配給：日活 時間：123分 ©2019(日)上製作委員会

7 12/21(土)▶27(金)

ドリーミング村上春樹

世界最大級のドキュメンタリーの祭典Hot Docsで観客賞を受賞した本作品。完璧な翻訳を追求する彼女の姿に、村上春樹作品を一回でも読んだことがある人ならば、その解釈の幅広さに共感することでしょう。本作品で使用されているビデオ・アート・フィルムは、北沢薫のVFXチーム、TGBVFXが手がけたもので、その制作にも注目です。

世界で初めて劇場公開される 村上春樹を巡るドキュメンタリー映画。村上春樹の翻訳家メッチ・ホルム。完璧な翻訳を求めて独り平行世界を旅する。

第2次世界大戦中、イギリスで唯一ナチスドイツに占領されたチャンネル諸島の1つであるガーンジー島。そこに暮らす人々の支えとなっていたのが、島での読書会とその創設者であるエリザベスという女性の存在だった。人と人の心をもつた事実と強く興味を抱いた作家のジュリエットは島を訪ねて、エリザベスの姿はなかった。読書会のメンバーと交流している中で、ジュリエットは彼らが重大な秘密を隠していることに気づいてしまう。

リリー・ジェームズ、ミキール・ハースマン、グレン・パウエル、ジュリア・ブラウン、フィンドレイ、キャサリン・バーキンソン、マシュー・グッド、トム・コートネイ、ベネローフ・ウィルトン 監督：マイク・ニューウェル 配給：キソフィルムズ/木下グループ 時間：124分 ©2018 STUDIOCANAL SAS

メッチ・ホルム 監督：ニチエ・アンジャーン 配給：サニーフィルム 時間：60分 ©Final Cut for Real

映画部員No.3 / 加藤るみとのオススメ作品!!

突然、自分以外がビートルズを知らない世界に... ビートルズの多幸感溢れるメロディに心躍る。近くにある愛こそ遠回りしてしまうもず痒さはリアル。エド・シーランが意外とがっつり出ちゃってるのが笑える。

第7回 岐阜新聞映画部 アートサロン

「アートを扱った映画って難しい」「作品についてもっと知りたい!」という方の想いに応えるべく始まった「岐阜新聞映画部アートサロン」!第7回は映画『ゴッホとヘレーネの森 クレラー=ミュラー美術館の至宝』を題材に、岐阜県美術館学芸員の松岡未紗さんにナビゲートしてもらいます。

『ゴッホとヘレーネの森 クレラー=ミュラー美術館の至宝』 上映&トークイベント 12/14(土)

12:30~14:00 『ゴッホとヘレーネの森 クレラー=ミュラー美術館の至宝』上映
14:05~14:50 松岡未紗さんトークイベント ※時間は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

■会場/岐阜CINEX 岐阜市日/出町2-20 (柳ヶ瀬・高島屋前) ■定員/90名 ■全席自由
■ナビゲーター/松岡未紗さん (岐阜県美術館学芸員 修復・絵画担当)
■料金/大人:1,500円 大学生:1,300円 小・中・高校:800円 シニア:1,000円 (いずれも税込)

松岡未紗 (まつおかみさ) 岐阜県美術館学芸員。修復・絵画担当。2012年4月より現職。

第32回 CINEX 映画塾

『米軍が最も恐れた男 カメジロー不屈の生涯』 上映&トークショー 12/15(日)

全席自由 ■会場/岐阜CINEX 岐阜市日/出町2-20 (柳ヶ瀬・高島屋前) ■定員/190名 ■ゲスト/佐古忠彦 監督
■料金/大人:1,500円 大学生:1,300円 小・中・高校:800円 シニア:1,000円 (いずれも税込)

12:30~14:38 『米軍が最も恐れた男 カメジロー不屈の生涯』上映
14:45~15:30 佐古忠彦 監督 トークショー ※時間は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

『米軍が最も恐れた男 その名は、カメジロー』以来2年ぶりの出演!

佐古監督のことば

前作『米軍(アメリカ)が最も恐れた男 その名は、カメジロー』の公開から半年が経った2018年2月。私は、230冊以上に及ぶ瀬長亀次郎の日記に再び向き合い始めた。いったん区切りを迎えたいはずの取材だったが、まだまだ深いカメジローの世界が覗きだされなかった。ずっと引かかっていた、前作を鑑賞して下さったお客様の数々の言葉がある。「家庭でのカメジローの顔を知りたい!」「どうして、こんなに不屈の精神を宿すに至ったのか?」こうした声もあった。「かっこいいカメジローは分かった。かっこ悪いカメジローもみてみたい!」つまり、闘う不屈の男だけでなく、まさに人間カメジローをもっと見たいということなのだ。

次女・千尋さんは、父・亀次郎の日記を発見したとき、想像を、「沖縄の戦後史が詰まっている」と語ったが、そこには、それに加え、家族の歩み、亀次郎の本音、知られざる素顔が隠れていた。そんな前作には盛り込まなかった素顔のカメジローへのアプローチは、『米軍(アメリカ)が最も恐れた男』の実像をさらに浮き彫りにすることになった。

もちろん、闘うカメジローも健在である。那覇市長を逮捕された後、米軍と向き合う。そして、それは、後世へのメッセージとまで語りかけてくる。

『米軍(アメリカ)が最も恐れた男 カメジロー不屈の生涯』の上映に合わせて、12/14(土)~20(金)の上映期間中、首里城再建のための寄付金を募る募金箱を岐阜CINEX劇場窓口に設置します。集まった寄付金は、沖縄県に全額寄付いたします。皆様の温かいご支援をお待ちしております。

この沖縄の大地は、再び戦場となることを拒否す!「基地となることを拒否する!」前作で叫びたい。国論争戦時の首相に激しくぶつかった亀次郎の姿に、多くの人が快哉を叫んだが、その魂の言葉を生み出した原点も日記に残されていた。亀次郎は、何のためにこれほど不屈に一本の道を歩み続けたのか。その先に何が待っていたのか。沖縄の歴史と亀次郎の言葉が、その答えを導き出す。そして、それは、後世へのメッセージとまで語りかけてくる。

国立沖縄記念公園(首里城公園):正殿

岐阜CINEX劇場窓口、WEB・ファミリーマートにてチケット販売中!!

WEB・ファミリーマートでご購入の方へ ※お申し込みには「岐阜新聞映画部チケット」への会員登録(無料)が必要です。 WEB・ファミリーマートでの購入方法はこちら ※チケット券面額以外に手数料が別途掛ります。 https://www.funinity.jp/tickets/gifus/showlist

『キネマ旬報12月下旬号』 『キネマ旬報NEXT Vol.30』

最新号は、CINEXでも上映する『カツベン!』特集。岡防正行(監督)、成田凌、黒島結菜らのインタビューや活動弁士に関するコラムなどを収録。ほかにも「那人荘の殺人」より、神木隆之介と中村倫也のドラマアンタニクビュー、新海誠のインタビューを掲載したアニメーション映画特集、八千草薫さんの追悼特集などを掲載しています。

発売中/935円(税込) 発売中/990円(税込)

映画みんと倶楽部 限定上映作品入場料金

大人	大学生	シニア	高校・中学・小人
(1,800円のところ)	(1,500円のところ)	(1,200円のところ)	(1,000円のところ)
1,500円	1,300円	1,000円	800円

※レディースデー(毎週水曜・女性のみ) (1,200円のところ) ※ファーストデー(毎月1日) 1,000円 ※エブリディ・ナイトサービス(毎日夕方18時以降) (1,300円のところ) 1,100円

岐阜新聞映画部Webや公式SNSでは、映画部ライターによる作品評などを紹介! 情報発信中!!

岐阜CINEX上映作品をはじめ、最新映画の作品評も掲載されていますので、ぜひご覧ください。